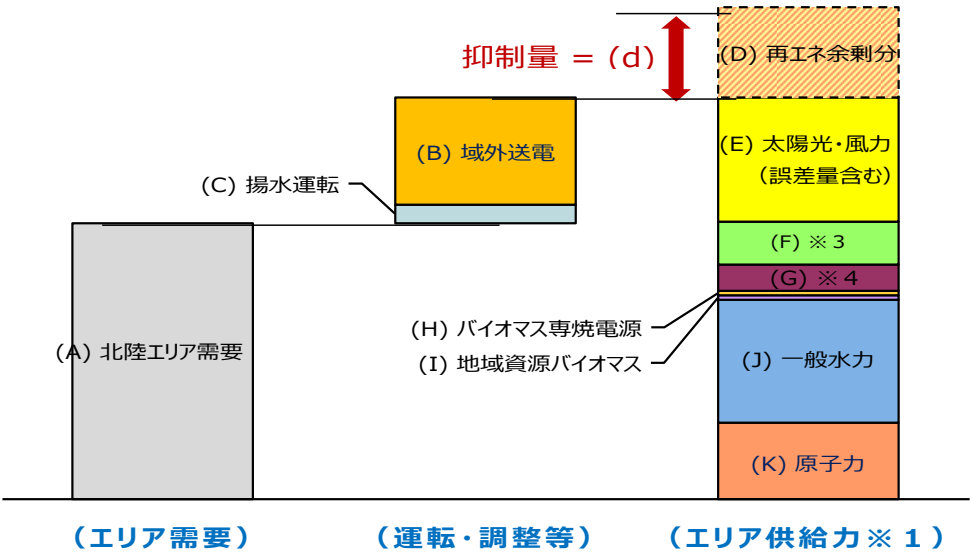


日別の需給状況・再エネ出力抑制の必要性(2025年4月)

場所				北陸エリア	
出力抑制指令計画時の下げ調整力最小時刻				4月26日(土) 12時30分～13時	
				【前日計画】	【当日見直し】
需給状況 (万kW) イメージ図は 「別紙3」	エリア 供給力	(F) 調整力としてあらかじめ確保する発電設備等（火力）		28.1	当日見直しが あれば記載
		(G) 調整力としてあらかじめ確保していない発電設備等（火力）		0.4	
		(K) 原子力		0.0	
		(J) 一般水力		143.7	
		(H) バイオマス専焼電源		7.7	
		(I) 地域資源バイオマス		3.3	
		(E-1)	太陽光⑥	114.1	
			風力⑪	4.3	
	(E-2) 想定誤差量		14.2		
	エリア供給力 計⑫			315.8	
	エリア 需要等	(A) エリア需要②		241.0	
		揚水運転	(C-1) 揚水式発電機の揚水運転⑬	▲ 12.0	
		域外 送電	(B-1) 約定済みの域外送電電力⑭	▲ 53.2	
			(B-2) 長周期広域周波数調整⑮	0.0	
エリア需要等 計⑯ = ② - (⑬ + ⑭ + ⑮)			306.2		
				【前日計画】	【当日見直し】
必要性 (万kW) イメージ図は 「別紙3」	エリア供給力 計⑫			315.8	
	エリア需要等 計⑯			306.2	
	(D),(d) 誤差量を織込んだ抑制必要量⑰ = ⑫ - ⑯			9.6	

○需給状況（別紙1）・当日の需給実績（別紙3）のイメージ図

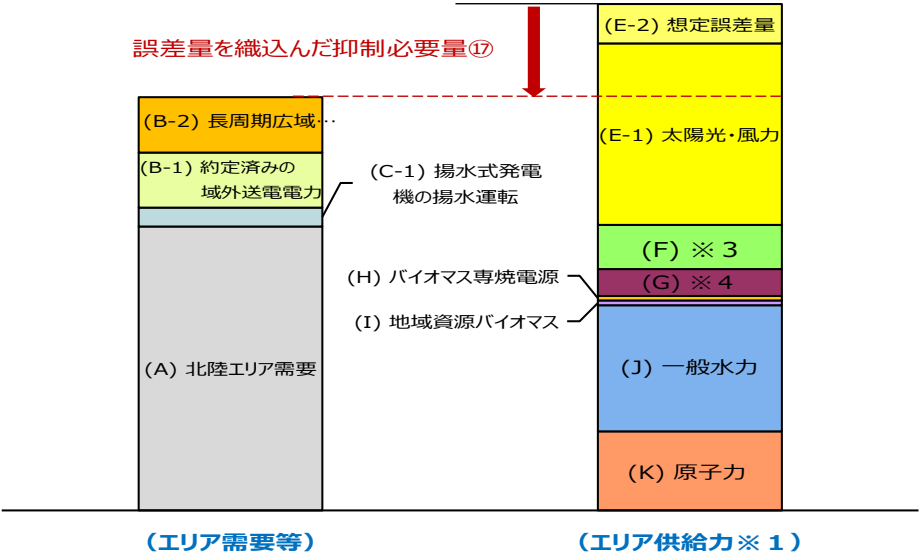
エリア需要等・エリア供給力



※ 1：優先給電ルールに基づく出力抑制後のエリア供給力。
※ 2：北陸関西間連系線および中部北陸間連系設備の運用容量相当。
※ 3：調整力としてあらかじめ確保する発電設備等。
※ 4：調整力としてあらかじめ確保していない発電設備等。バイオマス混焼電源を含む。

○必要性（別紙1）のイメージ図

再エネの出力抑制を行う必要性と抑制必要量



日別の優先給電ルールに基づく抑制、調整状況(2025年4月)

- (※)差異理由
- (a) 連系統運用容量を維持するための電制量確保

(b) 燃料貯蔵の関係から抑制量減少

(c) 燃料貯蔵の関係から抑制量増加
- (d) 試運転試験パターンに基づく抑制量減少

(e) 試運転試験パターンに基づく抑制量増加

(f) 自家発電設備など工場の生産調整に基づく計画
- (g) オーバーホールで停止中

(h) 翌日発電計画に基づいた発電出力を採用

(i) 他の供給区域の受電可能量不足
- (j) 系統作業による停止

(k) 燃料受入に伴うBOG消費のための発電機出力制約

(l) 作業（ばい煙測定等）による抑制量減少
- (m) 設備点検で停止

(n) 設備点検に伴う一部停止

(o) 設備不具合による出力制約
- (p) 揚水可能量制約

(q) 点灯需要供給力確保

万kW]

優先給電ルールに基づく抑制、調整（1）		4月26日(土)				
調整力としてあらかじめ確保する発電設備等（火力） ※ L F C調整力 2％確保の発電所	燃料	発電所	最低出力①	前日計画②	差異（②－①）	差異理由(※)
	石炭	敦賀	0.0	0.0	0.0	
		七尾大田	21.2	21.2	0.0	
	L N G	新港LNG1U	0.0	0.0	0.0	
	LNG、石油	新港2U	7.0	7.0	0.0	
合計			28.1	28.1	0.0	—
優先給電ルールに基づく抑制、調整（2）		4月26日(土)				
調整力としてあらかじめ確保する発電設備等（揚水）	対象設備なし	揚水動力①	前日計画②	差異（②－①）	差異理由(※)	
		—	—	—	—	
優先給電ルールに基づく抑制、調整（3）		4月26日(土)				
需給バランス用蓄電設備の充電	対象設備なし	充電最大動力①	前日計画②	差異（②－①）	差異理由(※)	
		—	—	—	—	
優先給電ルールに基づく抑制、調整（4）		4月26日(土)				
調整力としてあらかじめ確保していない発電設備等（火力） ※ 2 事業者と合意した最低出力（発電設備の補修停止等を考慮）	種別	最低出力① ※ 2 [出力率％]	前日計画②	差異（②－①）	差異理由(※)	
	火力 () 内は 全設備運転時	0.0 [0％]	0.0	0.0		
		(11.1) [24％]				
	自家発電余剰	4.5	0.4	▲ 4.1	(h)	
	合計	4.5	0.4	▲ 4.1	—	
優先給電ルールに基づく抑制、調整（5）		4月26日(土)				
調整力としてあらかじめ確保していない発電設備等（揚水）	発電所	揚水動力①	前日計画②	差異（②－①）	差異理由(※)	
	A	▲ 12.0	▲ 12.0	0.0		
優先給電ルールに基づく抑制、調整（6）		4月26日(土)				
長周期広域周波数調整（連系統活用） ※ 3 空容量＝（運用容量） － 約定済みの域外送電電力 － マージン（ΔkWマージン含む）	連系統	前日15時時点 の空容量① ※ 3 （運用容量）	前日計画②	差異（②－①）	差異理由(※)	
	北陸フェンス （越前嶺南線＋南福光BTB）	188.6 (136)	0.0	▲ 188.6	(i)	
	合計	188.6	0.0	▲ 188.6	—	
優先給電ルールに基づく抑制、調整（7）		4月26日(土)				
バイオマス専焼電源 ※ 2 事業者と合意した最低出力（発電設備の補修停止等を考慮）	種別	最低出力① ※ 2 [出力率％]	前日計画②	差異（②－①）	差異理由(※)	
	バイオマス専焼 () 内は 全設備運転時	8.2 [93％]	7.7	▲ 0.5	(h)	
		(8.2) [93％]				
	自家発電余剰	0.0	0.0	0.0		
合計	8.2	7.7	▲ 0.5	—		
優先給電ルールに基づく抑制、調整（8）		4月26日(土)				
地域資源バイオマス ※ 2 事業者と合意した最低出力（発電設備の補修停止等を考慮）	種別	最低出力① ※ 2 [出力率％]	前日計画②	差異（②－①）	理由 A～C 毎 （発電所数）	
	出力抑制可	0.5 [83％]	0.5	0.0		
	出力抑制不可	— [100％]	2.8	—	A(13)、B(2)、C(3)	
	合計	0.5	3.3	0.0	—	
想定誤差量		4月26日(土)				
想定誤差量	出力帯算定	出力帯	高出力帯			
		(A)過去 最大出力／設備量	93％			
		(B)当日 最大出力／設備量	91％			
	(C)出力率 (B)／(A)	98％				
	誤差量	太陽光誤差	6.0			
		エリア需要誤差	8.2			
合計	14.2					

地域資源バイオマスの出力制御不可理由：A（燃料貯蔵が困難）、B（燃料調達体制に支障を来たす）、C（周囲環境に悪影響を及ぼす）